

堺市障害者自立支援協議会 研修担当

平成２３年度まとめ

１ 経過（これまでの流れ）

研修担当は、地域生活支援部会の「平成２２年度まとめ」に基づき、堺市障害者自立支援協議会におけるプロジェクトチームとして平成２３年度に設置され、「平成２２年度まとめ」においてその必要性が提言された「ホームヘルパー事業者研修」及び「グループホーム事業者研修」の実施に向けた実務的な検討を行うこととされました。

２ 今年度の活動報告と、次年度に向けて

地域生活支援部会における議論を踏まえつつ、具体的な企画内容についての議論を月１回のペースで行い、出来上がった企画書（別紙参照）に基づいて下記の研修を実施しました。

研修の概要

① ホームヘルパー事業者研修

- 日時： 平成２３年１１月２２日（火）１４：００～１６：４５
場所： 堺市産業振興センター（旧「じばしん南大阪」）４階 セミナー室４
対象： サービス提供責任者
参加人数： ５０人
内容： （１）行政説明
・ 相談支援等に関する国の動向
（２）シンポジウム
・ ヘルパー事業者の立場から
・ 相談支援事業者（生活支援センター）の立場から
・ サービス利用者の立場から
・ 意見交流
（３）グループディスカッション（交流を兼ねて）
・ １０人×６グループ
・ 支援センター相談員、障害当事者部会委員も各グループに参加

② グループホーム事業者研修

日時： 平成24年2月2日（木）13：00～15：00

場所： 堺市総合福祉会館5階 第1研修室

対象： サービス管理責任者・世話人・生活支援員

参加人数： 23人

内容： （1）行政説明

- ・ 相談支援等に関する国の動向

（2）講演

- ・ グループホーム・ケアホームにおける支援のあり方等について
（NPO法人サポートグループほわほわの会 宮崎氏）

（3）グループディスカッション（交流を兼ねて）

- ・ 4～5人×5グループ

次年度に向けて

自立支援協議会が主催する研修においては、「当事者の声」や「権利擁護」といった視点が重要であることが、今年度の取組みを通して明らかとなりました。次年度以降の研修では、その2つの視点を重視した企画にする必要があります。

① ホームヘルパー事業者研修

アンケート結果については概ね好評で、「同様の研修をしてほしい」という声も多く寄せられたため、形態としては同様のものを企画していく方向とし、例えば、テーマを絞る、シリーズものとして複数回実施するなど、より効果的な研修となるよう検討を進めていくこととします。

また、グループディスカッションについては、1グループ当たりの人数をもう少し減らして実施するなど、実施手法の改善を図っていくこととします。

なお、事例検討や、サービス提供責任者等の具体的なスキルアップに対する研修の要望もありましたが、テーマに応じて、自立支援協議会として実施すべき研修と、他の機関（例えば行政や専門機関等）に実施を促すべき研修とを選別していく必要があります。

② グループホーム事業者研修

「当事者の声」を打ち出した企画を検討することとします。なお、そうした「当事者の声」を集めるための手法として、「障害当事者部会」の枠を越えた仕掛けや工夫も必要であると考えられます。

また、上記①と同様、テーマを絞る、シリーズものとして複数回実施するなど、より効果的な研修となるよう検討を進めていくこととします。